



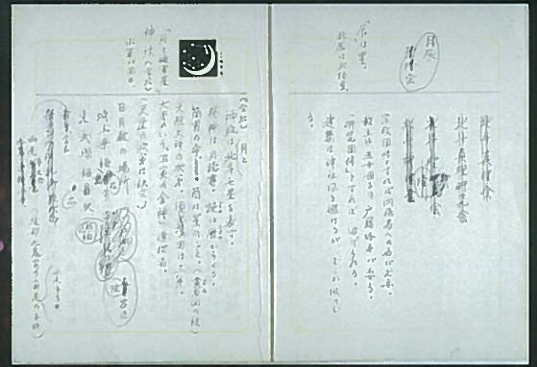
御霊示 月辰会



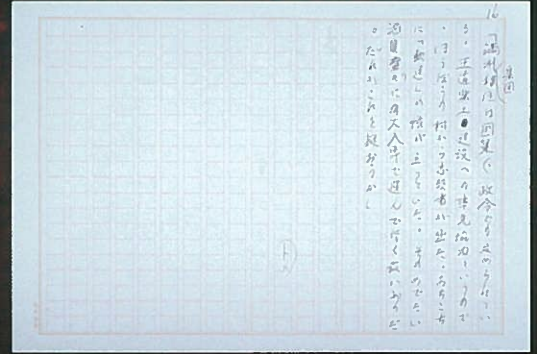
絶筆「神々の乱心」

昭和初期、新興宗教を興し、女官や軍人を信者に取り込み宮中に勢力を伸ばし、天皇権力を手中にしようとした男の野望を描く、未完の大作。「昭和史発掘」から20余年温めてきたテーマを、創造力と洞察力でふくらませて作品化。最後の情熱をほとばしらせ、想像力を奔放に解きはなった、松本清張最後の(瑞々しい)小説である。

—ほんとうに瑞々しい作品は、若い頃には書けないものだ。



「神々の乱心」創作ノートの第1頁



「神々の乱心」絶筆原稿



松本清張生誕100年記念特別企画展

松本清張 最後の小説

神々の乱心

—乱心の(神々)はどちらにつくのか—

松本清張・筆 「神々の乱心」(「週刊文春」)題字

2010年1月9日(土)→3月31日(水)

松本清張記念館 地階[企画展示室]

常設展示観覧料:一般500円[400円]・中高生300円[240円]・小学生200円[160円] []内は30名以上の団体料金
開館時間:午前9時30分~午後6時[入館は午後5時30分まで] 詳細は当館WEBサイトにてご確認ください。

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号
TEL093-582-2761 FAX093-562-2303

北九州市立 **松本清張記念館**

<http://www.kid.ne.jp/seicho>

松本清張ゆかりの品や情報をお持ちの方は、記念館までお知らせください。